



平和首長会議ニュース

2024年12月 / 第180号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,459** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数 : 1,740

(2024年12月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！



ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>



フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024の入賞作品が決定しました！
- ◆ ウェブサイトから平和首長会議パンフレットをダウンロードできるようになりました！
- ◆ 2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎で開催します
- ◆ 平和首長会議は展示データ提供を行っています！
- ◆ 平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,459自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから: 2024年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説②
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

■こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024の入賞作品が決定しました！



平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、全加盟都市の6歳以上15歳以下のこどもたちを対象にした絵画コンテストを実施しています。

7回目となる2024年度は、世界21か国123都市のこどもたちから4,208作品の応募があり、各加盟都市での審査を経て、617作品が平和首長会議事務局に送付されました。事務局で選定した結果、20作品を入賞作品として決定しました。入賞された皆様、おめでとうございます。

入賞作品は、作者のメッセージとともに、平和首長会議のウェブサイトで紹介しています。いずれも素晴らしい作品ですので、ぜひご覧ください。また、平和首長会議会長賞作品は、平和首長会議のクリアファイルのデザインとして採用し、国連の会議など様々な場面で活用します。



平和首長会議会長賞を受賞した広島県広島市
大地 粋さん(13 歳)の作品

【作品に込めた平和への思い】

「私には、白い鳩が夏の青空に一番美しく輝いて見えた。業火でも、青白い光でも、外国の飛行機でもなかった。もし私があの時空の下にいたら、どこからかとんできた焦げた羽で絵を描いているだろう。その絵をほしいと思ってくれる人はいるだろうか。」

🔗 こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024の入賞作品を決定しました。(平和首長会議ウェブサイト): <https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2024/post-241212-2/>

平和首長会議のウェブサイトより、過去の入賞作品の画像データをダウンロードいただけます。公共施設等における展示会の開催や各種イベント内での展示をご検討ください。希望される加盟都市の皆様には、ダウンロードに必要なユーザIDとパスワードをお伝えいたしますので、事務局までご連絡ください。

▼連絡先: Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

🔗 こちらからコンテスト過去入賞の作品のダウンロードができます:
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>

■ウェブサイトから平和首長会議パンフレットをダウンロードできるようになりました！

この度、平和首長会議のウェブサイトからパンフレットをダウンロードできるようになりました。

このパンフレットでは、平和首長会議の概要や取組を分かりやすく紹介しています。ぜひご覧ください。

🔗 こちらからパンフレットのダウンロードができます：

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2408-mayors_for_peace_pamph_jp.pdf



■2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎で開催します

平和首長会議は、加盟都市が集う総会を原則として4年に1回広島・長崎両市で交互に開催し、重要な事項を議決・承認することとしています。

第11回平和首長会議総会は、以下の内容で開催する予定です。

【日程】

令和7年(2025年)8月7日(木)～8月10日(日)

【場所】

出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1)ほか

<https://dejima-messe.jp/>

【出席者の負担】

- ・出席負担金 1人当たり14,000円
- ・旅費

【参考】

長崎市で同日程で開催された第9回総会の開催実績

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2017/former-9th-gc-jp/>



第10回平和首長会議総会の様子

(2022年10月 広島市)

会議概要や参加登録情報をお知らせするアドバンスプログラムは、今年度末頃に発行予定です。被爆80周年を迎えるに当たり、多くの加盟都市のご出席をお待ちしております。

■平和首長会議は展示データ提供を行っています！

各地で様々な平和関連イベント等が開催される当たり、各加盟都市で活用いただける平和首長会議の展示を紹介させていただきます。加盟都市におかれましては、ぜひこの取組にご協力ください。

🔗 こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト受賞作品(作者メッセージの展示用データもダウンロードできます)：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>

🔗 平和首長会議原爆ポスター展：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/poster/>



■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

平和首長会議では、活動の活発化と連帯意識強化を図るため、メンバーシップ納付金制度を導入し、1自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

令和 5 年 10 月 27 日付け「第 11 回平和首長会議国内加盟都市会議総会について(報告)」でご報告しましたとおり、同総会において、メンバーシップ納付金の納付率の向上に取り組んでいくことを確認しました。これまで「予算措置がない」など未納の理由を申し出ていただいていた加盟都市におかれましても、今年度の納付及び今後の予算措置(年額 2,000 円)をお願いいたします。

また、加盟自治体の皆様へ本年 4 月 4 日付けで請求書等を郵送しております。現在も納付金の納付を受け付けておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

なお、自治体判別のため、お振込の際には振込人のお名前の前に「全国地方公共団体コード」をご記入くださいようご協力をお願いいたします。「全国地方公共団体コード」の入力が難しい場合はお手数ですが、お振込の日付と振込人のお名前を平和首長会議事務局までメールでお知らせください。

今年度の納付金の負担が困難な場合は、免除を希望する理由を記載の上、必ず平和首長会議運営課までメールでご連絡ください。

日本非核宣言自治体協議会の会員自治体は、平和首長会議メンバーシップ納付金の取扱いに関する要綱第 2 条第 4 項の規定に基づき、納付金が免除となりますので、平和首長会議運営課までお知らせください。皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■加盟都市の活動紹介

●福島県南相馬市 平和首長会議原爆ポスター展を開催

南相馬市博物館(福島県)では、令和6年8月27日(火)～同9月16日(月)にかけて、平和首長会議原爆ポスター展を開催しました。

博物館エントランスホールで行った展示では、多くの方が足をとめ、じっくりとご覧になられている姿が見受けられました。東日本大震災と続く原発事故による避難を経験された方も多いためか、非常に高い関心があったと思われます。

展示の最後には、南相馬市「核兵器廃絶平和都市宣言」を掲げ、本市の核兵器廃絶への姿勢について、市民をはじめ多くの観覧者にアピールしました。



写真提供: 南相馬市

●埼玉県加須市 被爆アオギリ・クスノキ二世の苗木を植樹



写真提供: 加須市

加須市では、平和に対する決意を表明するため、平成23年3月に「加須市平和都市宣言」を制定し、世界の恒久平和の実現に向けた取組を進めています。

令和6年7月2日には、広島で被爆した「アオギリ」と長崎で被爆した「クスノキ」の被爆樹木二世の苗木を、市内で初めて大利根東小学校に植樹しました。

世界の平和を願う気持ちが込められた2本の木を、未来へつなぐ平和のシンボルとして大切に育てていきます。

● 東京都日野市 平和宣言 40 周年を記念して被爆アオギリ二世の苗木を植樹



写真提供：日野市

日野市では、日野市核兵器廃絶・平和都市宣言の制定 40 周年の節目を機に平和宣言を末永く未来に受け継ぐ気持ちを新たにすることを記念し、令和 6 年 9 月 8 日に被爆アオギリ二世の植樹を行いました。

当日は、市長、市議会議員、平和派遣小中学生 11 人、明星大学人文学部の学生グループが参加し、日野市核兵器廃絶・平和都市宣言を読み上げ、核兵器廃絶と世界恒久平和を願いました。

● 東京都西東京市 被爆アオギリ二世の苗木を植樹

令和6年10月31日に西東京市内にあるおおぞら公園（新町三丁目12番地 旧IHI田無工場跡地）で被爆アオギリ二世の植樹式を行いました。

植樹式では、被爆体験伝承者として活動をしている市内被爆二世の野田信枝さんより、式に参加した向台小学校6年生約130人に向けて、被爆後も命が受け継がれていく様子などを描いた絵本「アオギリのねがい」を朗読していただきました。

また、朗読に合わせて、小平市で活躍しているコカリナサークル“ちっちゃいうち”のみなさんより「アオギリのうた」をコカリナで演奏していただき、朗読と音楽の演出に児童も集中してお話を聞く様子が印象的でした。



写真提供：西東京市

式典では、市長、教育長、野田信枝さん、代表児童4名が協力し、アオギリの苗木を未来への希望を込めて植樹しました。今後も市民と共に被爆アオギリの木の育成を見守りながら、平和意識を育んでいきます。

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、ご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

■■ 平和教育の取組事例を募集しています ■■

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼ 書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,459自治体

2024年12月1日付で、36自治体が加盟し、加盟自治体数は8,459都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
アルバニア	ベルシュ等10都市	16	平和団体パスウェイズ・トゥ・ピースの呼び掛けにより加盟。
フランス	サンドウラ	178	副会長都市及びリーダー都市であるマラコフ市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	バート・ブラムシュテット等3都市	903	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
アイルランド	クレア等16都市	23	本年10月に松井会長が同国ダブリン市を訪問した際に、平和首長会議加盟セレモニーが開催された。
イタリア	グアスタツァ等2都市	526	
ルクセンブルク	シュットランジュ	64	
ネパール	アージュンダーラ	42	
ポルトガル	ヴィディゲイラ等2都市	57	理事都市及びリーダー都市であるエヴォラ市の呼び掛けにより加盟。

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！



🔗 12月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2412-newmembers2412_jp.pdf

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF) :

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト) :

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2024年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説②

前号(第178号)までに紹介したように、2024年版ポスターは、「現役核弾頭数」(※)に着目することにより、世界の状況をより正確に表現することを試んでいます。

2024年現在、ロシア、米国、中国、フランス、英国、パキスタン、インド、イスラエル、北朝鮮の9カ国が核兵器保有国です。うち、米ロの2カ国の現役核弾頭数が全体の約8割を占めています。

ポスターでは、2018年から24年までの各国の現役核弾頭数増減数と、その増減率を示しました。ポスターで示した数字をまとめた表が以下になります。9カ国全体では、2018年からの6年間で332発(3.6%)の増加となっています。国別では北朝鮮、中国が最も高い増加率を示し、最大の核戦力を持つ米国に対抗する手段として、核軍拡を進めていることがわかります。

現役核弾頭数 の推移・国別(2018-2024)

国名	2018	2024	増減数(増減率)
ロシア	4346	4380	34(0.8%) 増加 ↑
米国	3800	3708	92(2.4%) 減少 ↓
中国	240	500	260(108%) 増加 ↑
フランス	290	290	0(増減なし) →
英国	215	225	10(5%) 増加 ↑
パキスタン	140	170	30(21%) 増加 ↑
インド	125	170	45(36%) 増加 ↑
イスラエル	80	90	10(13%) 増加 ↑
北朝鮮	15	50	35(233%) 増加 ↑
全体	9251	9583	332(3.6%) 増加 ↑

画像提供: 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

他方、こうした弾頭数の「量的」な変化は、核軍拡が進んでいることを示す一つの指標に過ぎないことに注意が必要です。なぜならポスターでは「質的」な軍拡は表現できていないからです。例えば米国は9カ国で唯一、現役核弾頭数を減らしています。しかし、ロシアとともに米国は、老朽化が進んだ冷戦時代の核兵器システムのアップグレードを図ろうと、莫大な予算を投じた近代化計画を進めています。さらには、最先端技術を使った新型核弾頭や核ミサイルなどの開発も加速させています。これから先何十年も核兵器を持ち続けるための計画が進んでいると言えるのです。(次号に続く)

※現役核弾頭数とは、核弾頭総数から「退役・解体待ち」の弾頭数を引いた数です。各国が「実際に使うことができる」核弾頭の数と言えます。2024年6月現在、世界に存在する現役核弾頭数は推定9,583発です。

=====

■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第122回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

テレビやYouTube、広島ではパブリックビューイングで視聴した人がそれぞれにいたのではないのでしょうか。日本時間の12月10日夜、ノーベル平和賞が日本被団協に授与され、その模様が中継されました。

代表委員の田中熙巳さんの演説は、明快でした。戦争で一般市民が被った被害を決して受忍せず、戦争を遂行した国に償う責任があると求めることが被爆者運動の根幹であり続けていると伝えていました。親族5人を失った体験を語るくだりに、92歳の高齢になるまで田中さんたちを突き動かしてきた「死者」の存在の重みを感じます

被爆者より若い私たちの世代が受け継ぐべき、原点を指し示してくれたのではないのでしょうか。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

[被団協ノーベル平和賞] 核廃絶訴え 原点の写真 受賞展示に本社が提供

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=147323>

「力を合わせて平和を守ろう」 広島市中区で式典 PVも

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=147753>

[被団協に寄せて ノーベル平和賞] ヒロシマ史家 宇吹暁さん 先人の熱量 運動導く

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=146785>

遺骨帰る 親子79年ぶり再会 父がシベリア抑留病死 東広島の向井さん 母を思い涙「きっと安心」

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=146700>

[被団協ノーベル平和賞] 運動の軌跡語る資料保存 受賞決定で注目「記憶遺産を継承する会」

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=146918>

旧陸軍の被爆遺構を公開 軍馬水飲み場の石畳 Eピース建設で出土

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=147124>

=====

■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在70か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

🔗 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙

<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>



2024年も残すところあとわずかとなりました。

本年も、平和首長会議の取組についてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2025年も、平和首長会議は核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け、積極的な取組を進めてまいります。また、被爆80年を迎える8月には、長崎市にて第11回平和首長会議総会を開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

来年も、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

平和首長会議事務局一同

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈X(旧ツイッター)〉  @Mayors4Peace
<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！